



令和5年度つばさ小学校卒業証書授与式式辞



つばさ小学校区の都会の道端にも、力強く野草が色とりどりの花をつけ始め、春の息吹が強く感じられる頃となりました。このよき日に、さいたま市教育委員会 生涯学習部 北図書館 館長 玉木 浩太郎 (たまき こうたろう) 様、さいたま市 議会局 局長 穂刈 浩 (ほかり ひろし) 様をはじめ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、令和5年度 さいたま市立つばさ小学校 第15回卒業証書授与式を挙げることを心より深く御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、皆さんは、小学校生活の半分以上をコロナ禍という 困難な学校生活をくぐり抜けて来ました。

最後の授業参観『巣立ちの会』のエンディング・ムービーには、皆さんのあどけない低学年の映像から現在の姿までが上映されました。

たった1つの未知のウイルスが出現する前、表情をマスクで覆い隠すことのない、穏やかな・愛くるしい笑顔いっぱい姿が、突如、2年生の3学期以降、全員の顔がマスクで覆われました。突然の全国一斉休校、そして、休校明けも、次々と繰り返される学級閉鎖。オンライン授業。保護者の方々には、大切な我が子への初等教育に大きな不安をおかけしたと拝察いたします。

そして、昨年、ようやくマスクをはずして、安心して素顔で笑い合える学校生活が戻ってきました。エンディングムービーにも、素顔の子どもたちの笑顔が輝いていました。

卒業生の皆さん、小学校の半分以上を、仲間と共に、コロナ禍を乗り越えてきました。この経験は、この先の長い人生において、必ず、皆さんの力となります。

人類の未知のウイルス。その恐怖に対し、根拠のない虚言や空言に惑わされることなく、仲間を思いやり、共に力を合わせてきた その力は、学力テストなどでは、決して数値として測定することが出来ない【非認知能力】と言えるものです。皆さんは、その力を自分のものとしてきたのです。

ここで、卒業を祝し、私【わたくし】から卒業生の皆さんへ、はなむけの言葉を贈ります。

これから紹介する言葉は、「近代日本経済の父」といわれる澁澤栄一の言葉です。今年の七月、新しい一万円札に、肖像が印刷されます。澁澤栄一は、江戸時代の終わりに、埼玉県深谷市の農家に生まれました。栄一が若い青年時代を過ごした日本は、ともすると欧米の植民地となってしまうかもしれないという 非常に厳しい時代で、世の中もとても 混乱した時代でした。

栄一の講演をまとめた「論語と算盤」という書物には、次のような栄一の言葉が残されています。

『成功や失敗といった価値観から抜け出して、超然と自立し、正しい行為の道筋にそって行動し続けるなら、成功や失敗などはレベルの違い、価値ある生涯を送ることができる』

この言葉です。【成功や失敗といった、結果を気にするのではなく、自分の信じる「正しい道」をどこまでも、力強く歩んで行くことだ!】と栄一は語りかけています。

これから先、一生懸命に努力しても、思うような結果が得られないこともあるかもしれません。時には、何回も何回も失敗するかもしれない。ただし、大切なことは、そこから立ち上がることです。つらい苦境に立たされても、決して“あきらめない心”を胸に刻んでください。

栄一の突き抜けるような青雲の志は、次の漢詩にも表れています。それは、家業の藍(あい)を販売するため、信州の険しい山を越える際、一篇の漢詩を詠み上げたものです。

原文は難解ですので、簡単に紹介すると、【青天を衝き刺す勢いで肘(ひじ)をまくって崖を登り、白雲(はくうん)を突き抜くような気力で、手に唾をつけて、前へと進む】という詩です。

どうか、卒業生の皆さん、これから先の人生、様々な困難が立ちまはだかろうと

そうした時には、『【青天を衝き刺す勢いで】、どんなにつらくとも、【白雲を突き抜くような気力】で、前に、そして前に、歩(あゆ)んでいってください』

そして、栄一が語ったように、【成功や失敗といった、結果を気にするのではなく、自分の信じる「正しい道」をどこまでも、力強く歩んでいってください。】

結びに、これまで、お子様を慈しみ、守り育ててくださった保護者の皆様、お子様の小学校ご卒業、誠におめでとうございます。12年前、お子様が誕生して、大きな幸せと喜びを感じ、両手で抱きかかえていた小さな子が、このように心身ともに健やかに成長されました晴れ姿、さぞや 思い ひとしおのことと思います。心からお祝い申し上げます。

本日、ご臨席賜りましたご来賓の皆様、並びに 保護者の皆様の益々のご健勝と共に、子どもたちの前途洋洋たる未来を祈念いたしまして、式辞といたします。

◆ジョイフル フェスティバル 2024
～埼玉県トップバンドが集結します！～

【期日】令和6年4月7日(日)
【会場】所沢市民文化センター
ミュージアークホール
(第1部) 9:30 開場 10:20 開演
(第2部) 13:50 開場 14:30 開演(つばさ2部1番目)

◆つばさ小吹奏楽部は、第2部1番目に出演
★全席指定 S席1000円 A席700円
※当日券の販売は、ありません。

★座席に限りがあり、
先着順の一般販売です。

- ①右のQRコードを
読み取り、Web 購入
- ②ローソン、ミニストップ
で購入



24時間子どもSOSダイヤル

0120-0-78310

*子どもや保護者の悩み受付(なやみいおう)

学校生活の様子

おめでとうございます！！

【さいたま市児童生徒表彰】

6年

【さいたま市体育優良児童表彰】

6年 6年

【埼玉県産業教育振興会表彰】

6年

【さいたま市小学校英語劇発表会】

★入賞

5年

●お詫びと訂正(学校だより3月号に誤りがありました)

【第64回埼玉県小・中学校等児童生徒美術展】

★特選

6年



1 〈未来くる先生ふれ愛推進事業〉 2月27日(火)

文化芸術スポーツ等の分野においてトップレベルの実績があり、本市にゆかりのある方を中心とした「未来(みらくる)先生」を市で派遣し、子どもたちに夢を育みます。本校ではアルティメット選手が特別授業を行いました。



4 〈お別れ球技会〉

3月 8日(金)

新年度は、3校親善球技会の会場がつばさ小となります。5年生が、6年生とのお別れ球技会を通して、最上級生のバトンを引き継ぎ、つばさ小のリーダーとなる自覚を高め、たくましく成長していくことを期待しています。



2 〈6年生を送る会〉 3月 1日(金)

1～5年生が、お世話になった6年生に心をこめて、お祝いの出し物を披露し、感謝の気持ちを精一杯表現しました。6年生は、最高学年らしい、あっと驚かせるような演出と素晴らしい歌声を体育館中に響かせました。



5 〈吹奏楽部スプリングコンサート〉 3月 9日(土)

音楽をこよなく愛する吹奏楽部の皆さんが情熱を注いで磨き上げてきた演奏に、最後の最後の1音まで、精一杯の想いを込めました。夏の暑い県大会、東日本出場を決めた西関東。運動会を終え、臨んだ最上位大会。様々な情景もよみがえりました。



3 〈つばさっ子まつり〉 3月 7日(木)

5年生が中心となって、縦割り班の中で、企画・運営の中心的な役割を果たしてくれました。射的やボーリング、魚釣りなど楽しいお店がたくさんでき、上級生が下級生に優しく接していました。



6 〈6年生奉仕作業〉 3月12日(火)

6年間の学び舎に感謝の気持ちを込めて配膳台カバーのミシン縫いや、音楽室などの特別教室の普段行き届かない箇所の清掃等、まごころを込めて行ってくれていました。最高の卒業生です。

